

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町中里亀山540-8

TEL : 0173-57-2001

FAX : 0173-57-4929

E-mail : t\_gijyutu\_c@maff.go.jp

### 青森ヒバ復元プロジェクト現地検討会

平成30年10月5日（金）、むつ市の二階滝国有林において、青森県内の林業事業者、地方公共団体の民有林担当者等を対象に青森ヒバ復元プロジェクト現地検討会が、青森ヒバ復元プロジェクト協議会委員9名を含む総勢約75名の参加のもと開催されました。

はじめに、下北森林管理署担当者より青森ヒバ復元プロジェクトについて説明があり、かつてヒバ林が成立していた地域において、天然力を活用しつつ人工林からヒバ林への誘導に向けた取組について、下北森林管理署で取り組んでいる復元箇所の現況や調査状況に



参加者は興味深く聞き入っていました。説明の後、復元箇所の実際の間伐作業を見学しました。ヒバの成長はスギなど他の樹種に比べてきわめてゆっくりであることから、復元には多くの時間がかかりますが、長期的な目線で取り組んでいく必要があると強く感じました。

今後、復元箇所の該当署ではヒバ復元プロジェクト試験地で継続的に調査等をすすめることとしています。

【森林技術専門官 増田】



## 屏風山地区海岸防災林現地研修会



屏風山の海岸防災林の重要性、歴史的意義について理解を深めていただくために、平成30年10月24日に地域住民を対象に31名参加のもと屏風山地区海岸防災林現地研修会がつがる市の屏風山国有林で開催されました。

はじめに、青森県西北地域県民局より松くい虫被害の現状と対策ということで、近年被害が出ている青森県深浦町の松くい虫とナラ枯れ被害状況とその対策について説明がありました。その後2班に分かれて、屏風山のパトロール及び現地視察を行いました。屏風山国有林402林班の視察では、松くい虫とナラ枯れが屏風山に迫っていることから、当センターで予定している広葉樹を試験的に植栽する

ことを説明しました。参加者は真剣に聞き入っていました。

日本の海岸林造成の歴史を振り返ると、地元住民から立ち上がっているものが多く、今後も屏風山地区海岸防災林の現状を理解していただくとともに住民意識を高めていく取組を継続していきたいと考えております。【森林技術専門官 増田】

### 森をさんぽ

増田です！



森林技術専門官  
増田 悠介

秋の季節が終わりに近づき、暦のうえでは冬の季節が到来しています。街路樹に目を向けるとイチョウの葉が黄金色に輝いています。

イチョウは古い時代に日本に渡ってきたとされ、神社やお寺あるいは街路樹によく植えられており、巨木も多くみられます。また、被子植物ではなく裸子植物であり、中生代など古い時代から生きていることから、生きた化石と呼ばれています。

イチョウには雄の木と雌の木があり、雌の木は秋になると種子が成熟しますが、外種皮は黄色で独特の臭気を放ちます。

私はこの臭気は苦手です。内種皮は銀杏（ぎんなん）で茶碗蒸しなど食用として使われます。ただ、銀杏（ぎんなん）は多く食べすぎると中毒を起こす可能性がありますので、食べ過ぎにはご注意ください。

今の季節、街路樹を通ると、黄金色に輝いたイチョウの葉と独特の臭気を放つ銀杏に出会えますが、個人的には街路樹は銀杏（ぎんなん）がない雄の木を植えてほしいです。



### なかどまり町民文化祭



【好評の松ぼっくりの花❀花】

10月27日（土）『なかどまり町民文化祭』が開催され職員4名が参加しました。「樹木とのふれあいコーナー」や「製作コーナー」を通じて国有林に関するPRを行いました。今年は特に色付けし花に見立てた松ぼっくりの輪切りを使ったリース作りが好評でした。【企画係長 金澤】

#### ☆編集後記☆

今年も雪が舞い降りる時期になりましたね。今年は雪が少ないのではとの予想、当たることを願っています。さて、好評だった「なかどまり町民祭」は来年から新庁舎完成までお休みです。